

公安委員会定例会議会議録

第1 開催日時

令和2年7月30日（木） 13時00分 ～ 15時30分

第2 出席者

成田委員長、野呂委員、横町委員

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、総務室長、警察学校長

第3 議事の概要

1 議題事項

なし

2 報告事項

(1) 令和2年6月中の苦情取扱状況及び感謝事例の紹介について

警務部長から、6月中の苦情取扱状況及び感謝事例について報告があった。
委員から苦情の取扱いに関して、「繰り返し指導・教養をお願いしたい」旨の発言があった。

(2) 警察官の新型コロナウイルスの感染について

警務部長から、「警察本部所属の20歳代男性警察官が新型コロナウイルスに感染し、また、濃厚接触者として、警察本部員及び十和田警察署員22人、感染職員と会食に同席した店の従業員4人が判明したが、検査の結果、いずれも陰性が確認された。感染防止対策として、マスクの確実な着用、庁舎の消毒、サーモグラフィやフェイスシールドの活用等を行う」旨の報告があった。

委員から、「今後も職員が感染する可能性はあるので、適切な対応をとるよう指導するとともに、今回の感染職員には精神的なフォローもしていただきたい」旨の発言があった。

(3) 令和2年上半期の犯罪統計について（暫定値）

刑事部長から、「本年上半期の刑法犯認知件数は、1,767件で前年同期比プラス107件であり、検挙件数、検挙人員が増加したほか、検挙率も上昇した。刑法犯のうち重要犯罪は、認知件数、検挙件数が減少したが、検挙人員が増加し、検挙率も上昇した。また、重要窃盗犯は、認知件数、検挙件数、検挙人員が増加したほか、検挙率も上昇した」旨の報告があった。

(4) 報道協定制度勉強会及び報道協定訓練の実施について

刑事部長から、「8月18日、警察本部内において、青森社会部記者会加盟各社の各担当者を対象に報道協定制度勉強会及び報道協定訓練を実施する」旨の報告があった。

(5) 令和元年度中の違法駐車対策の推進状況について

交通部長から、「令和元年（暦年）の確認標章取付け件数は、駐車監視員と警察官合計で1,773件であり、反則告知件数は104件であった。また、令和元年

度の放置違反金納付命令及び納付状況については、納付命令が1,717件、収納が1,708件で収納率は99.5パーセントであった」旨の報告があった。

(6) 感染症防止対策を講じた災害警備訓練の実施について

警備部長から、「7月15日、機動隊において、新型コロナウイルス感染拡大の第2波が懸念される中、国内では大雨による大規模災害が発生していることを受け、タイベックスーツ着脱やバールなど各警察署に配分した工具等を活用した車両からの救助等の災害警備訓練を実施した」旨の報告があった。

委員から、「九州地方や山形県最上川の氾濫など大雨による被害が発生しており、本県でもいつ災害が発生するかわからないので、訓練を継続して練度を向上させていただきたい」旨の発言があった。

《決裁等》

- 指定司法警察職員の指定について
- 人事案件の報告について
- ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等に係る審査請求について
- 令和2年度第1四半期における公安委員会の交通規制に係る専決処分の実施状況について
- 運転免許の行政処分に係る意見の聴取結果等について
- 警察職員等の援助要求に伴う同意について

以 上